

音更で制定  
快適なコースづくり憲法

胆振支部では  
有珠山被災者のため  
チャリティー活動

# IPGA NEWS 27



INTER NATIONAL PARK GOLF ASSOCIATION

国際パークゴルフ協会 北海道中川郡幕別町錦町66番地2  
☎(0155)54-2260・F54-2204

2000. 6. 1 発行



「わたしも打てるよ」

家族で楽しむパークゴルフ

# G・W コースにぎわう



帯広の大島良子さんは高校生のめいや  
おいと一緒に…



のびのびプレーが楽しめる景観よいコースに他市町村からも  
多く来場、にぎわいを見せた

芽室町  
美生川河川敷PG場

## パークゴルフは ファミリースポーツ

帯広市  
札内川第2・第3PG場



家族旅行の思い出に借りたクラブで  
パークゴルフ

幕別町  
俳句村コース



朝4時から6時まで出社前までプレーする朝組もいるという帯広  
中心地にほど近いコース。林間コースも変化に富み人気が高い



# シーズン到来

十勝から

道内コースのほとんどがオープンを迎えたゴールデンウィークには、家族でパークゴルフを楽しむ光景が多く見られました。連休中曇り空の多かった十勝管内のPG場でも多くの愛好者が今や遅しとコースへくりだしにぎわいを見せ、訪れたコースでカメラを向けるとみなさん笑顔で答えてくれました。



お揃いの青い帽子でコースを回るダボクラブのみなさんは今年初の例会

豊頃町茂岩山PG場



連休中には若い人が楽しむ姿も…



羅臼町のオープンを待てず、十勝に家族でPGツアーにきた阿保薫さんら。この日は更別でプレーしてここへ



芝生の上でちょっと休憩

置戸町でもパークゴルフを楽しむ原田実さん。仲間と一緒に十勝へPG旅行



幕別町  
はらっぱ36コース



起伏に富んだコースで田園風景が眼下に広がる

# ＊さくらカップ＊

## 過去最高の394人が出場

田尻町・加護坊P G場

第4回パークゴルフ全国交流大会「さくらカップ」が宮城県田尻町加護坊パークゴルフ場で開催された。過去最高の394人が参加、春の陽光を浴び、つぼみ膨らむ桜の木々に囲まれたコースのなか競い合った。

大会前夜の大雨に見舞われたが、開会式をかねた前夜祭での、参加者の願いが通じ当日は無事開催。さくら、うぐいす4コースで一斉にスタートした。コース内にカジユアルウォーターがでるコースコンディションだったが、はつらつプレーが続出。熱戦を繰り広げる中、地元勢が各地の強豪との戦いの中で男女とも2位に食い込む健闘を見せた。

前夜祭ではさくらカップにふさわしく各テーブルに桜が飾られ、参加者たちの目を楽しませていた。

### 大会結果

36ホール

＜男子の部＞

優勝	桑島靖夫	南足柄市(神奈川県)	107
準優勝	高橋貞二	田尻町(宮城県)	109
3位	佐々木瑞夫	小牛田町(宮城県)	110
4位	伊藤利見	田尻町(宮城県)	111
5位	奥山久次	湯沢市(秋田県)	112
6位	高橋浩人	久慈市(岩手県)	112
7位	荒川太	田尻町(宮城県)	113
8位	大場国男	小牛田町(宮城県)	113
9位	長澤力	松戸市(千葉県)	113
10位	財田勉	船橋市(千葉県)	113

＜女子の部＞

優勝	草彌スミ子	千歳市(北海道)	113
準優勝	佐々木定子	田尻町(宮城県)	114
3位	高橋泉	久慈市(岩手県)	114
4位	渡辺幸枝	田尻町(宮城県)	114
5位	田中昌子	北見市(北海道)	114
6位	松浦サツ子	田尻町(宮城県)	115
7位	内海栄子	千歳市(北海道)	115
8位	小野寺ます子	田尻町(宮城県)	115
9位	高瀬末江子	小杉町(富山県)	116
10位	石垣節子	田尻町(宮城県)	117

はつらつプレーで  
つぼみもゆるむ



前夜祭では郷土芸能も披露



桜満開といかなかった大会も全国から集まった選手たちの気迫は今年も変わらず

優勝



草彌スミ子さん

大会3回目の出場での優勝に「ホールインワンを2回出せたのが良かった。次回も入賞を目指したい」と連覇へ意欲満々

＜女子の部＞

入賞者の  
喜びの  
声

優勝



桑島靖夫さん

目標のスコアも達成、「OBを一度もださなかったのが今回の成績につながった」と勝因。

＜男子の部＞

3位



高橋 泉さん

「一緒にプレーした方と気持ち一つになれたのがとてもうれしい。これからもずっと続けたい」

準優勝



佐々木定子さん

「2位という成績と一緒に回った方々の良いアドバイスがあったからこそです」

3位



佐々木瑞夫さん

「足下の悪いコンディションの中これだけの成績が残せてとても満足です」

準優勝



高橋 貞二さん

「まさか準優勝できるとは。いいパートナーに恵まれました」



# 大会結果

36ホール

## ＜男子の部＞

優勝	中道一夫	大野村(岩手県)	99
準優勝	南野米蔵	山形村(岩手県)	104
3位	田畑勝	三戸町(青森県)	104
4位	南正男	軽米町(岩手県)	104
5位	中野金之丞	軽米町(岩手県)	106
6位	松橋栄	大野村(岩手県)	106
7位	高橋浩人	久慈市(岩手県)	106
8位	大場昭午	田尻町(宮城県)	107
9位	奥武志	二戸市(岩手県)	108
10位	古里義美	軽米町(宮城県)	108

## ＜女子の部＞

優勝	石垣節子	田尻町(宮城県)	103
準優勝	釣谷良子	大野村(岩手県)	107
3位	長谷川光子	音更町(北海道)	108
4位	紙谷みちる	江別市(北海道)	110
5位	立花マサ子	上磯町(北海道)	110
6位	片山敏子	上磯町(北海道)	112
7位	南野クミ子	山形村(岩手県)	112
8位	保岡良子	三戸町(青森県)	112
9位	斉藤京	大野村(岩手県)	114
10位	富谷邦子	湯沢市(秋田県)	115

岩手県北端の軽米で全国大会。打球を見つめる選手たち



# チューリップの町 軽米で全国大会

## 第2回「森と水とチューリップ」PG選手権

第2回「森と水とチューリップ」パークゴルフ選手権大会が5月6、7日の2日間岩手県軽米町ハートフル・スポーツランドPG場で開催された。晴天に恵まれた大会はホールインワンが27本もでるといふハイレベル。大接戦の末、男子は岩手県大野村・中道一夫さん、女子は宮城県田尻町の石垣節子さんが優勝した。



カップ前、真剣な表情でショット



りんご立ち木オーナーを引き当て大喜び。会場の参加者はみなうらやましそう

同大会は12万本のチューリップが咲き誇る「森と水とチューリップフェスティバル」の開催期間中に行われ、今年で2回目となった。地元軽米町から31人、他県68人をはじめ、北海道のPG愛好者も加わり、参加者152人。山林地形を生かした起伏に富んだコースに選手たちも果敢に挑んだ。男女とも東北勢が健闘し上位に多く入った。

前夜祭では軽米民謡保存会による歌や踊りの披露、町の特産品「リンゴの立ち木オーナー」の抽選もあり北海道の堂前登さん、和田昭雄さん、埼玉県の高橋昭雄さんが引き当て大いに盛り上がった。

## ミレニアム

### 男女ペア大会

日時 4月2日  
会場 北海道白町・虎杖浜パークゴルフクラブ

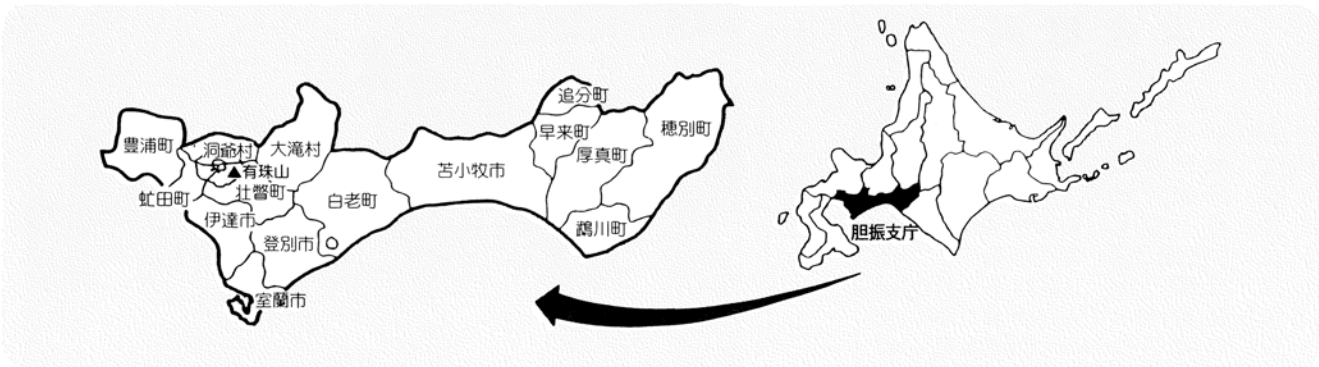
○：シリーズんいち早く開催されたミレニアム大会。3月31日の有珠山噴火で開催への影響が懸念されたが、主催者の心配をよそにキャンセルも少なく、無事開催された。和気あいあいと60組の男女ペアがボールを交互に打ち合い、18ホールを2ラウンド回り競い合った。

【大会結果】①近藤恵一・近藤幸子(虎杖浜) 113 ②森田知治・杉美恵子(苫小牧) 114 ③内海治郎・内海栄子(千歳) 117 ④有田充・野沢美佐子(虎杖浜) 117 ⑤霜沢照夫・小林美和子(静内) 118

## ホールインワンが27本も…

優勝し喜びの近藤さん夫妻





# 胆振支部・募金活動

## 有珠山噴火被災者救援のため

有珠山噴火活動の影響で避難を強いられている地区を持つ胆振支部では4月から募金活動を開始した。管内の各大会で募金を募るほか、クラブハウスを持つコースに募金箱を設置している。その都度チャリティで集められた義援金は室蘭民放社などを通じて寄付される。

有珠山の噴火活動が始まって同支部の虻田町などが避難地域となったニュースを聞き、「競技を楽しみむだけでなく、支部として何か役立つことをしよう」といち早くチャリティ活動を始めた胆振支部。支部内の全市町村に呼びかけ、クラブハウスなど10数カ所に募金箱を設置し、同好会レベルの月例大会を含めた4月に開催されたファミリーパーク追分大会、5月開催の苫小牧市タピオ、白老町などでの各種大会でチャリティ大会として開催している。

このチャリティ活動は6月に入っても、継続的に続けられている。

### 避難住民の中にはPG愛好者も

一方、有珠山周辺の町村でもパークゴルフのシーズンを迎えている。洞爺湖東側に位置する壮瞥町では、4月中旬に一度降灰があったが芝に影響なく、5月1日にオープン。伊達市でも5月11日に、大滝村内のPG場も5月上旬にはオープン予定となった

ている。また虻田町から多くの住民が避難している豊浦町の展望公園PG場でも4月29日例年通りシーズンインとなった。避難住民の中にはパークゴルフ愛好者も多く、1ヶ月を越える長期となった避難生活のなか、ゴルフデンウィーク中にはパークゴルフを楽しむの一つとして、コースにでてくる人もいたという。

5月8日現在、有珠山の噴火活動は小康状態が続けているが、今後の噴火活動によって周辺地域への影響が懸念される。一日も早く噴火活動が終息することを祈りたい。



## チャリティ大会開催 クラブハウスに募金箱も



大会会場に募金箱を置き、多くのPG愛好者へ呼びかけている



## 【目的】

### 第1条

この憲法は、パークゴルフ精神に基づき、タバコの吸殻やゴミ等の放置の防止について競技者がお互いに注意し、必要な事項を定めることにより、清潔で美しいコースづくりの推進を図り、楽しくプレーができることを目的とする。

なお、本憲法の精神が、日常の社会生活を営む上においても生かされることを願って制定する。

## 【競技者の責務】

### 第2条

本法で言う競技者とは、協会に属する会員及び一般の競技者をさし、パークゴルフ場で自ら生じさせたゴミ等を持ち帰るなど、散乱させることのないようにしなければならない。

2 会員は、積極的に本法の趣旨を遵守すると共に、地域における環境美化活動の模範となるように努めなければならない。

3 会員は、本法の目的を達成するため、協会が実施する事業に協力しなければならない。

4 会員は、コース内において会員がゴミ等を放置したのを発見した時は、その場で優しく注意を促し、従わない場合は協会へ報告するものとする。

## 【協会の責務】

### 第3条

協会は、本法の目的を達成するため、ゴミ等の放置・散乱の防止について会員に趣旨を浸透させるよう努めなければならない。

2 協会は、報告を受けた場合、初めての者に対しては、適切な処置を講ずるよう勧告し、2度目の者に対しては、掲示板等で氏名を公表することができる。

## 【推進員】

### 第4条

協会は、本法の目的達成のため、快適なコースづくり推進員を置き、協力を求めることができる。

## 【委任】

### 第5条

この法の施行について必要な事項は、会長が別に定める。

## 付 則【施行月日】

1 この憲法は、平成12年4月23日から施行する。

## 音更町PG協会

# 「快適なコースづくり憲法」制定

# マナー向上のため先駆的な取り組み

音更町パークゴルフ協会は「快適なコースづくり憲法」を4月23日の総会で制定、愛好者自ら美化に努めてゆこうと呼びかけている。協会がゴミ放置などマナーを守るためにこのように明文化した憲法を作ったのは全国でもユニーク。この取り組みに近隣町村からも注目されている。同協会事務局長の後藤良勝さんは「PG愛好者が地域の環境美化活動の先駆となって、この取り組みが他の町村に広がってほしい」と話している。



公認指導員やアドバイザーがこの腕章をつけ推進員として協力

## 腕章つけた推進員も

近年PG熱の高まりの中で、プレーに集中ルールばかりを気にするプレーヤーがみられ、コース内にたばこの吸殻やゴミの放置が各地で問題となっている。このマナーの低下に研修会を開くなど各協会などで対応しているが、なかなか改善されていないのが現状。

千人を超える会員を持つ音更町PG協会では、PG場の管理者である音更町との意見交換の中でパークゴルフ場の美化に協会自ら努めてゆくこと

を決め、今回の憲法制定に至った。憲法の中ではパークゴルフの精神に基づき、他人に迷惑をかけるを第一に社会人としてのマナーを守ることを目的とし、第3条では数度にわたり注意を受けた人に対し、罰則を設けた。また快適なコースづくり推進員として、公認指導員やアドバイザー全員が常に黄色い腕章をつけ、コースでの意識改革に協力する。今後各種大会でこの憲法の内容を説明し、協会加盟の同好会レベルまで浸透させてゆく。

スポーツの本来の意味は「他に心を移して楽しむ」ことだと言われています。パークゴルフの現況はこの認識であり野外活動・レクリエーションの分野で「屋内より屋外へ」と人の心を導いて健康的な社会活性化を願うものがあります。

しかし競技である以上、正規のルール・マナー・エチケットが必要となります。これを全国に普及活動を推進し完成に導いたのが北海道幕別町の国際パークゴルフ協会です。その活動は目覚ましく、現在加盟団体四〇〇

## 熊本から展開したパークゴルフ

弱、愛好者数四十万人超の組織となり国内二十六支部、国外はハワイ、オーストラリアなど五協会が活躍しています。

ところで熊本より発進した九州のパークゴルフの施設は自治体、民間を合せて熊本四、福岡二、長崎二、佐賀一、大分一、宮崎一、鹿児島二の十三コース(内、公認コース三)が稼働している現状であります。全国では既に七〇コース以上が設営されており九州地区では今後熊本県を起点として九州地

区全般に亘るブームが予想されています。

現在熊本県支部は九州で認可された初めての支部であり今の段階では九州各県の普及活動にも力を注いで行かなければ……と考えています。それは九州各地に数多くのパークゴルフ場の施設増を促進し他県協会との交流と国際パークゴルフ協会の目的理念である三世代交流・心身の健康増進・地域活性化・高齢者への生き甲斐の創出などパークゴルフを通じて社会の健全化を進めるためであります。

に關係なく楽しく遊びながらできる「ミニレクリエーションスポーツ」であります。しかし現在ブレイヤーの年齢は六十歳以上と高齢者の占める割合が多くなっています。

昔から「親の背を見て子は育つ」と言われています。これからは私たちも戦前、戦後を通じて生きてきた社会人の先達として新世代の人達にパークゴルフを通じて伝え残すべきものが何かあると思います。北海道では道庁教育委員会がパークゴルフを通じて高齢者と子供達の交流の接点として学校課外活動の一つに取り上げています。この面での普及活動にも目を向けていかねばならないと考えます。

県内各協会の活動として熊本市協会が昨年県・市に働きかけ市営画図ゴルフ練習場内に九ホールコースを設営され本年三月ＴＶ放送にも登場しました。また久木野村協会では、南阿蘇地区に働きかけ新たな協会として発展させる様に努力されています。

パークゴルフは好景気のバブル時代に生まれ、崩壊後九州に渡ってきました。普及活動を進めるにはこの大不況時代とも対峙して行かねばなりません。私たちは良い物は後世に残るものとの目的意識をそれぞれ持ちお互いの健康に留意しながら明るい将来を求めて邁進しようではありませんか。

真原

熊本県支部広報誌創刊号より転載

熊本県支部

広報誌

「ひのくに」

創刊

九州地方で昨年初めて支部結成をした熊本県。支部役員が編集スタッフとして発行、5月1日には「ひのくに」創刊号ができました。450部が作製され、県内の会員などへ配布された。支部活動の内容や編集スタッフが訪れた他県への訪問記も掲載、愛好者の作品といった紙面も設けている。年4回発行予定で、会員に向けてパークゴルフの情報発信がされる。

みんないきいき生涯スポーツ  
ひのくに



# パークゴルフが交流のかけ橋



高知県でのPG交流コンペの参加者たち

## 北海道から高知へツアー 交流深め“再会を約束”

### 高知県PG協会と北海道

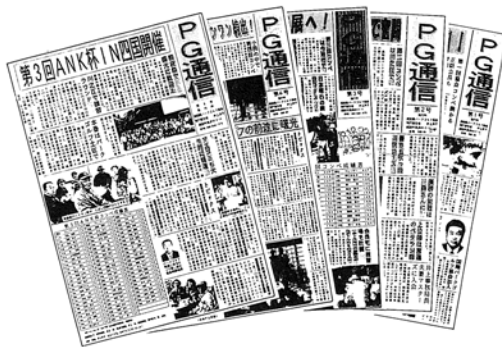
「今度は認定会で会いましょう」。パークゴルフを通じてお互い行き来している愛好者が増えている。PGが普及し始めたばかりの高知県に北海道からPGツアー。それだけに終わらずにこれからも再会を約束し交流を深めている。

高知で開催されたANK杯争奪第三回四国大会には北海道から27人のベテランプレーヤーが参加、昨年加盟したばかりの高知県PG協会たちとPGを通じて交流を深めた。3泊4日のツアー中、初日にウェルカムパーティー、2日目は川之江で合同の練習ラウンド、そして次の日にパークゴルフ土佐でいよいよ本番。総勢70人が熱戦を繰り広げた。北海道への帰路、空港までお見送りし、再会を約束した。6月には高知県から公認指導員・アドバイザーの認定会出席のため来道予定。3月の高知でのコ

### 6月には、石狩支部で認定会

ンペで大いなる歓迎を受けたお返しに石狩支部でも歓迎コンペの開催を計画中。

この交流の様子は、高知県PG協会がコンペ毎に発行しているPG通信でも紹介された。このPG通信は昨年4月に第1回より県内愛好者たちに向けてコンペでの様子や協会名簿など、写真を織り交ぜて情報を伝えている。



コンペの様子を伝えるPG通信

### 神奈川県開成町で 3世代交流のファミリー大会

子供からお年寄りまで楽しめるスポーツとして、世代間の交流を目的とした大会も増えてきている。開成町では3月のPG大会で家族を参加対象とした大会を開催。会場となった開成水辺スポーツ公園PG場ではおばあちゃんやお父さんとチームを作り、パークゴルフを楽しむ子供たちの姿が多く見られた。



# 平成12年度 国際協会理事会開催

2000.4.6  
幕別

## 加盟70協会が出席

平成12年度国際パークゴルフ協会理事会在4月6日、幕別町町民会館で開かれた。加盟70協会が出席、新年度の事業計画などを承認した。



事業報告などが行われた理事会

はじめに前原会長が「一生懸命にスポーツとして承認され全国に普及してゆく中で、組織として責任を持つことが必要。法人化に向けてより自立的なものにしてゆきたい」とあいさつ。次に事務局から昨年度の新規加盟・脱退団体や協会会員数の内訳が報告された。また事業報告、普及状況について「道外での公認コースや専用コースの増加などから、点から面への広がりが感じられる」と報告した。

協会	会員数		
	道内	道外	総数
加盟団体数	276	79	355
住民団体	202	56	258
民間会員	37	15	52
企業	37	8	45

H12.2月現在



## お・知・ら・せ

### 北海道オープン 申し込みが始まります

「北海道新聞杯第14回パークゴルフ北海道オープン」が8月6日に開催されることが決定いたしました。つきましては次の要領で参加申し込みを受け付けます。往復はがきで応募してください。

- ▼申し込み期間 6月26日(月)消印より、7月14日(金) 必着
- ▼申し込み方法 往復はがき一枚につき4名まで申し込みができます。各自の①郵便番号・住所②氏名(フリガナ) 性別・年齢③電話番号(市外局番より)を明記すること。
- ▼参加料 1人 2000円

往復はがきでお申し込みを

## 国際PG大会

申し込みありがとうございました。  
全員に出場権

今月24、25日開催の国際大会は抽選なく申し込み希望者全員出場できます。返信はがきの宛名となっている代表者にすでに発送しています。結果に関する事務局への電話問い合わせが多くなっています。代表者の方に確認をお願いします。



公認指導員		
11年度受講者	累計登録者	
男性	376	2,010
女性	98	387
計	474	2,397

H12.2月末現在

アドバイザー		
11年度受講者	累計登録者	
男性	1,250	5,082
女性	436	1,819
計	1,686	6,901

H12.2月末現在

# “PG普及発展のため よろしくお願ひします”

## 新 公認指導員 新 アドバイザー 続・々・誕・生

### 認定会 始まる

今年度の公認指導員及びアドバイザーの認定会が4月2日愛知県江南市（アドバイザーのみ）を皮切りに各地で開かれている。4月から随時シーズン中に日程が組まれており、新しい公認指導員、アドバイザーが続々と誕生している。

支部の中で先頭切って行われた熊本県支部では、九州唯一の開催地とあって福岡、鹿児島など県外からも含め受講者38人が集まった。真原剛彦主任指導員ら3人が講師となり、午前中にパークゴルフのルールとマナー

についてなど講義。午後からはどんぐりの森PG場で実技をした。受講者の中には慣れていないコースに加え、緊張でいつもの調子がでなかったものもいたが、補講を受けアドバイザー、公認指導員とも無事全員に認定証が交付された。



認定会実技会場での様子。受講者みな緊張の面もち

新年度に入り、支部長または事務局長に変更がありました。次の4支部です。

#### 釧路支部 平成4年度設立

支部長	遠藤 憲鋭	01547-6-2366
事務局長	山内 晃	01547-6-3092

#### 道央支部 平成5年度設立

支部長	二宮 良吉	01452-5-2371
事務局長	木村 豊	0123-23-8045

#### 石川県支部 平成7年度設立

支部長	末岡 尚	0762-21-1216
事務局長	土肥 利行	076-248-4843

#### 広島県支部 平成10年度設立

支部長	松上 孝至	0826-46-4041
事務局長	平岡 武義	0824-63-0572



## 各地の大会日程

(6月～8月開催予定)

開催予定日	開催支部	大会名	開催地
6月11日(日)	空知支部	第12回支部大会	砂川市
	道南支部	道南支部選手権大会	砂原町
6月18日(日)	日高支部	第3回支部大会	門別町
	十勝支部	十勝毎日新聞社全十勝大会	新得町
6月24・25日(土・日)	本部	第14回国際PG大会	幕別町
6月中旬	神奈川県支部	第6回あじさいカップ大会	開成町
7月2日(日)	十勝支部	全日本PG選手権十勝支部予選大会	幕別町
	山形県支部	第1回山形県PG愛好会あやめ百万本記念交流大会	飯豊町
7月9日(日)	オホーツク支部	第8回オホーツク支部大会	丸瀬布町
	日高支部	第5回南北北海道大会	静内町
	岩手県支部	第3回岩手県PG選手権大会	大野村
7月16日(日)	石狩支部	支部夏季大会(全日本選手権予選大会)	千歳市
	上川支部	支部大会兼全日本選手権大会	東神楽町
	札幌支部	支部大会	千歳市
	空知支部	第3回北海道新聞社杯全道PG大会	幌加内町
7月20日(木)	札幌支部	第3回道新・知事杯PG大会	千歳市
7月22日(土)	道央支部	第2回アサヒメロンカップ	追分町
7月23日(日)	宗谷支部	第5回宗谷支部結成記念大会	稚内市
7月中旬	宮城県支部	第8回宮城県大会	田尻町
8月6日(日)	本部	第14回北海道オープン	幕別町
8月25・26日(金・土)	山形県支部	山形県支部&船橋市PGA交流大会	飯豊町

### お詫びと訂正

IPGAニュース26号「パラグアイからおたより」の記事の中でチャベツ村というのは正しくはチャベス村、また本文中「愛好者が1000人を越え、」のあとに続く「近隣のアルゼンチンでも」が抜けていました。訂正し、お詫び申し上げます。

### 表紙の写真

幕別町白人小3年の原田康平くんは、おばあちゃんとお父さん、お母さん、妹の梨央ちゃん(4さい)と俳句村コースに。ゴルフデングルファミリー、梨央ちゃんもナイショットのシーンです。

最寄りの大会に足を運んでみては!! お問い合わせは、開催支部または本部まで

## 編・集・後・記

本部へのお便りの中で、「全国に愛好者が増えたので各地にIPGAニュースの特派員を置いたら」というご提案がありました。すぐにでも採用したいご意見ですが……。いまのところ、愛読者みなさんが「ニュースの特派員」と思って話題の提供を待っています。PG仲間のスナップ写真も送ってくださいね。

### 募集や問い合わせのあて先は

〒089-0604  
 北海道中川郡幕別町錦町66-2  
 TEL 0155-54-2260  
 FAX 0155-54-2204  
 国際パークゴルフ協会まで

発行/国際パークゴルフ協会  
 定価 1部100円

## ルール教えて

### 質問コーナー

**質問** 雨が降った次の日、パークゴルフをしに出かけました。打ったボールが水たまりにはまってしまいました。そのまま打っていいですか

**答え** この水たまりの場合はコース内に一時的にできたカジュアルウオーターでしょう。スタンスをとって打るときはいいですが、カジュアルウオーターにボールが入った時は救済を受けることができます。ホールに近づかない場所で、スタンスがとりやすい位置にボールを移動(プレース)してプレーを続けましょう。